

2023-2024シーズン

フィギュアスケート国際競技会 派遣選手選考基準

国際競技会派遣選手は、以下の選考基準に従い、強化部において候補を決定し、フィギュア委員会及び理事会、選考委員会の承認を経て確定するものとする。選考にあたり全日本選手権開催週にグランプリファイナル終了時点までの選考基準上の対象選手を公開する。各選考対象競技会の選考にあたり選考基準上の該当数、および該当項目内の点数・順位を加味し、上記手続きの基に選考を進める。

1. 世界フィギュアスケート選手権大会

(男女シングル・ペア各3枠・アイスダンス1枠)

(1) 男女シングル

- ①全日本選手権大会優勝者を選考する。
- ②以下のいずれかを満たす者から総合的に判断して1名選考する。
 - A) 全日本選手権大会2位、3位の選手
 - B) ISU グランプリファイナル出場者上位2名
 - C) 全日本選手権大会終了時点での ISU シーズンベストスコア上位3名
- ③以下のいずれかを満たす者から総合的に判断して、上記①②で選考された選手を含め、3名に達するまで選考する。
 - A) ②のA) B) C) に該当し、②の選考から漏れた選手
 - B) 全日本選手権大会終了時点での ISU ワールドスタンディング上位3名
 - C) 全日本選手権大会終了時点での ISU シーズンワールドランキング上位3名
 - D) 全日本選手権大会までに派遣した国際競技会、および強化部が指定した国内競技会*¹における総合得点の最も高い2試合*²の平均得点の上位3名

(2) ペア・アイスダンス

以下のいずれかを満たす組から総合的に判断して選考する。

- A) 全日本選手権大会優勝組、2位、3位の組
- B) 全日本選手権大会終了時点での ISU ワールドスタンディング最上位組
- C) 全日本選手権大会終了時点での ISU シーズンベストスコアの最上位組

※ 最終選考会である全日本選手権大会への参加は必須である。(補欠の選考はこれに限らない)
ただし、過去に世界選手権大会3位以内に入賞した実績のある選手が、けが等のやむを得ない理由で全日本選手権大会へ参加できなかった場合、不参加の理由となったけが等の事情の発生前における同選手の成績を上記選考基準に照らして評価し、世界選手権大会時の状態を見通しつつ、選考することがある。

2. 四大陸フィギュアスケート選手権大会

(男女シングル・ペア・アイスダンス 各3枠)

(1) 男女シングル

全日本選手権大会終了時に、以下のいずれかを満たす者から総合的に判断して選考する。

- A) 全日本選手権大会 10 位以内
- B) 全日本選手権大会終了時点での ISU ワールドスタンディング上位 6 名
- C) 全日本選手権大会終了時点での ISU シーズンワールドランキング上位 6 名
- D) 全日本選手権大会終了時点での ISU シーズンベストスコア上位 6 名
- E) 全日本選手権大会までに派遣した国際競技会、および強化部が指定した国内競技会^{*1}における総合得点の最も高い 2 試合^{*2}の平均得点の上位 6 名

※ 最終選考会である全日本選手権大会への参加は必須である。(補欠の選考はこれに限らない)
ただし、過去に世界選手権大会 3 位以内に入賞した実績のある選手が、けが等のやむを得ない理由で全日本選手権大会へ参加できなかった場合、不参加の理由となったけが等の事情の発生前における同選手の成績を上記選考基準に照らして評価し、四大陸選手権大会時の状態を見通しつつ、選考することがある。

(2) ペア・アイスダンス

国際的な競技力を考慮し総合的に判断して選考する。

- ※ 最終選考会である全日本選手権大会への参加は必須である。
- ※ 四大陸選手権出場に必要なミニマムポイントを取得していない組については、全日本選手権予選会時に派遣基準点を満たし、かつ強化部による国際競技力を認めた組をミニマムポイント取得競技会に派遣をする。

3. 世界ジュニアフィギュアスケート選手権大会

(男女シングル 3 枠・ペア 2 枠・アイスダンス 1 枠)

※ 選考選手の最終決定は、全日本選手権大会時に開催される選考委員会にて決定される。

(1) 男女シングル

- ①全日本ジュニア選手権大会優勝者を選考する。
- ②ジュニア対象年齢で派遣希望のある選手の中で、以下のいずれかを満たす者から総合的に判断して、上記①で選考された選手を含め 3 名に達するまで選考する。
 - A) 全日本ジュニア選手権大会 2 位、3 位の選手
 - B) ISU ジュニアグランプリファイナル出場者
 - C) 全日本選手権大会参加者のうち上位 3 名
 - D) 全日本選手権大会終了時点での ISU シーズンベストスコア上位 3 名
 - E) 全日本選手権大会までに派遣した国際競技会、および強化部が指定した国内競技会^{*1}におけるジュニアカテゴリーの総合得点の最も高い 2 試合^{*3}の平均得点の上位 3 名

※ 最終選考会である全日本選手権大会への参加は必須である。(補欠の選考はこれに限らない)
ただし、過去に世界ジュニア選手権大会 3 位以内に入賞した実績のある選手が、けが等のやむを得ない理由で全日本選手権大会へ参加できなかった場合、不参加の理由となったけが等の事情の発生前における同選手の成績を上記選考基準に照らして評価し、世界ジュニア選手権大会時の状態を見通しつつ、選考することがある。

ある。

- ※ 候補選手となるには、当該年度のいずれかの競技会にて、当該年度ジュニアショートプログラムのジャンプ課題を実施し、十分な得点を獲得できる実力を示していることが必要である。

(2) ペア・アイスダンス

国際的な競技力を考慮し、総合的に判断して選考する。

- ※ 最終選考会である全日本ジュニア選手権大会への参加は必須である。

4. ISU ジュニアグランプリシリーズ

(ISU より提示された出場枠による)

男女シングル・ペアは2023年6月末に開催する派遣選考会において、選考会課題・演技・国際競技力を総合的に考慮して選考する。

5. 2024ユースオリンピックゲーム

(男女シングル各2枠)

全日本ジュニア選手権終了時に、対象選手の中で、以下のいずれかを満たす者から総合的に判断して選考する。

- ①2023年ジュニアグランプリの総合得点上位4名
- ②全日本ジュニア選手権上位4名

6. 2025ワールドユニバーシティーズゲームズ

2024-2025シーズンに2025ワールドユニバーシティーズゲームズの出場資格を満たす選手の中で、以下の競技会(2023-24シーズン)にて下記の順位を満たした選手を候補選手とする。なお、出場カテゴリーの出場権、各カテゴリーの出場可能枠については今後JOCとの折衝で決められる。

「男女シングル」

- ・ 第92回全日本フィギュアスケート選手権大会 24位以内
- ・ 第92回全日本フィギュアスケートジュニア選手権大会 10位以内
- ・ 第73回全国高等学校スケート選手権大会 6位以内
- ・ 第96回日本学生氷上選手権大会 3位以内
- ・ 強化部が候補選手と認めた選手

「ペア・アイスダンス」

- ・ 強化部が競技力を見て認めた組

7. 世界シンクロナイズドスケーティング選手権大会

(1 枠)

以下のいずれかを満たすチームの中から国際的な競技力を考慮し総合的に判断して選考する。

- A) 全日本シンクロナイズドスケーティング選手権大会優勝チーム
- B) 全日本シンクロナイズドスケーティング選手権大会終了時点での ISU シーズンベストスコア上位 1 チーム (B 級戦国際競技会のスコアを含む)
- C) 全日本シンクロナイズドスケーティング選手権大会までに、強化部が指定したチャレンジャーシリーズ競技会に出場した上位 1 チーム

- ※ 最終選考会である全日本シンクロナイズドスケーティング選手権大会への参加は必須である。
- ※ 原則として当該競技会にエントリー・出場するにあたり、最終選考会である全日本シンクロナイズドスケーティング選手権大会にエントリーした選手 (補欠含む) と同一の選手でなければならない。

8. 世界ジュニアシンクロナイズドスケーティング選手権大会

(1 枠)

以下のいずれかを満たすチームの中から国際的な競技力を考慮し総合的に判断して選考する。

- A) 全日本ジュニアシンクロナイズドスケーティング選手権大会優勝チーム
- B) 全日本ジュニアシンクロナイズドスケーティング選手権大会終了時点での ISU シーズンベストスコア上位 1 チーム (B 級戦国際競技会のスコアを含む)
- C) 全日本ジュニアシンクロナイズドスケーティング選手権大会までに強化部が指定したチャレンジャーシリーズ競技会に出場した上位 1 チーム

- ※ 最終選考会である全日本ジュニアシンクロナイズドスケーティング選手権大会への参加は必須である。
- ※ 原則として当該競技会にエントリー・出場するにあたり、最終選考会である全日本ジュニアシンクロナイズドスケーティング選手権大会にエントリーした選手 (補欠含む) と同一の選手でなければならない。

9. その他の国際競技会派遣

その他の国際競技会については、事前に調査した上で強化方針に沿って選考する。

◆感染症等の影響による選考基準変更の可能性について

- ・感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律、新型インフルエンザ等対策特別措置法その他の法令による公的な規制により、選考基準上の対象競技会が延期・実施されない、または派遣できず選考基準の項目を満たせなくなった場合、該当する選考基準項目に関して、再度選考基準および前提条件を設定する。

◆感染症による体調不良、感染拡大防止のための出場辞退等に対する対応

- ・感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律、新型インフルエンザ等対策特別措置法その他の法令による公的な規制により、体調不良・感染拡大防止のための出場辞退、その他感染症に関連する特段の事情により全日本選手権大会を欠場した選手については、今シーズン派遣した国際競技会、および強化部が指定した国内競技会*¹における成績を上記選考基準に照らして評価し、大会時の状態を見通しつつ、選考することがある。

◆選考基準における補足事項

- ・各選考基準において、『上位』と記載のある選考項目については、対象資格・対象年齢に満たない選手及び優先する選考項目で選考済みの選手は除外し、繰り上げて対象とする。
『順位』で指定されている選考項目に関しては、繰り上げは行わない。
- ・補欠の選考に関しては、正選手選考項目に定める成績またはこれに準じる成績の者の中から、最終選考会時点の競技力や将来性を考慮し、総合的に判断して選考する。
- ・ISU が出場のためのミニマムポイントを設定している競技会派遣選考に際し、最終選考会時点で当該競技会のミニマムポイントを持っていない選手・組は、ISU の定める獲得期限日までにミニマムポイント獲得することを条件として選考することがある。
- ・当該国際競技会の派遣において、十分な国際競技力が無いと判断された場合には、派遣枠を満たさない選考を決定する場合がある。
- ・フィギュア委員会が定める派遣基準点、および派遣基準点獲得可能な指定競技会について、ペア・アイスダンスは全日本選手権大会・全日本ジュニア選手権大会各予選会前に提示する。

〈注釈事項〉

- *1 強化部が指定した国内競技会とは、以下を指す。
 - ・東日本選手権、西日本選手権、東日本ジュニア選手権、西日本ジュニア選手権
 - ・全日本ジュニア選手権
 - *2 本項目の総合得点は、シニアカテゴリーの総合得点に加え、ジュニアカテゴリーの総合得点も対象とする。
 - *3 本項目の総合得点は、ジュニアカテゴリーの総合得点のみを対象とする。
当該シーズンシニアカテゴリーのみ参戦している選手は、本項目は対象外となる。
-